



園だより 3がつ

令和8年3月2日
目黒区立南保育園園長

毎年この時期になると5歳児クラスの子ども一人が4歳児クラスの子どもたち二人をつれて事務所へ人数報告当番にやってきます。5歳児クラスになったら一人で当番をするので教えてもらうための時間です。5歳児クラスの子どもは緊張した面持ちでやってきますが、4歳児クラスの二人はにこにこ、そして事務所内を興味深くきょろきょろしながらやってきます。あとは任せたよ、これからがんばるねの気持ちの交流を経て4月にはそれぞれのクラスがまたひとつ進級します。大きくなることへの期待を心にたくさん膨らませている子どもたちの背中をそっと押してあげたいです。

先日小学校の先生方と交流する機会がありました。その中で印象に残ったお話は、周りのことがよく見えるようになる分、人と自分を比べ自分のできてないことが気になり、自信をなくしてしまう。そして人のできてないことに目が向いてしまうということです。子どもたちが自分の素敵どころ、得意なことに気づき自信を持って過ごせるようにご家庭と保育園とで共に愛情深くお子様たちと関わることを大切にしたいと思います。



つぶやき
てんとうむし組



卒園式

お別れ遠足（3、4、5歳児）

0歳児健診

お別れ散歩（5歳児）

移動日

お別れ会

*身体計測 避難訓練 全クラス

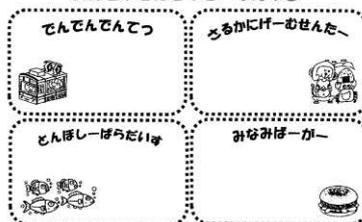
おやつの時

子 「おやつなあに」

保育士 「きなこマカロニだよ」

子 「きなこマカロン」「きなこマカロン」

おみやげさんごっこ ちけっと



お店屋さんごっこの様子

先日3歳児クラスの『でんでんでんてつ』、4歳児クラスの『さるかにゲームセンター』、5歳児クラスの『とんぼシーパラダイス』が開店しました。3、4、5歳児の同じマークの子どもたちが1グループになって一緒にお店を回ります。「あっち、行きたいよー」と先を急ごうとする3歳児クラスの子に、5歳児クラスの子は「みんなと一緒にいくからね」と優しく囁いています。4歳児クラスの子は、3歳児クラスの子の手をぎゅっと離さないように握っていて、仲の良い兄弟姉妹のようです。一方、「勝手なのは困るよ」と怒った5歳児クラスの子に指摘されて黙ってしまう4歳児クラスの子、それをどうしていいか不安げに見つめる3歳児クラスの子もいて、まるで親子のようでした。手を繋いで店を回り、ゲームや乗り物を楽しんだり、おいしい食べ物を食べたり、にぎやかな声が響いていました。

みんな大きくなりました

0歳児・ありんこ組

保育士が目の前で遊びを見せると、子どもたちも同じように遊び、目が合った時に「楽しいね」と笑い合って過ごしてきました。楽しい遊びを通して園に慣れ、保育士に自分の思いを指差しや喃語、言葉で表現しながら、思いが伝わる嬉しさを感じています。



1歳児・てんとうむし組

保育士と一緒に遊び、真似をしながら興味を広げ、好きな遊びを十分に楽しむことができました。そばにいる友達に関心を持つようになり、友達が遊んでいると「何をしているのだろう」と見て同じような遊びをしています。そばで遊びながら友達と楽しいねと気持ちを通わせるようになってきました。



2歳児・みつばち組

「何してるの」「一緒に遊ぼう」など友達と関わって遊んでいます。思いが違った時は「どのように話そうか」と保育士がやりとりの仲立ちをしながら友達の思いをつなげてきたことで、イメージを共有し簡単なやりとりをしながら遊べるようになってきました。



3歳児・でんでんむし組

幼児クラスになり、いろいろなことが出来るようになり「自分ってすごいんだ」と自信をつけることができました。また、友達と遊ぶ中で、「こうしてみるのはどう」「それいいね」「つぎはこうやってみようよ」など、自分の思いを言葉で伝え、友達の気持ちも感じながらやりとりができるようになってきています。



4歳児・こおろぎ組

氷鬼をする子たちが集まり「鬼決めしよう」とすると「鬼は、やりたくない」と言う子に、以前は「だめ」と言う姿がありました。友達と意見がぶつかり合う中で相手の気持ちに気づけるようになってきています。今では「じゃあいいよ」「鬼になりたい人だけで決めるから」と友達の思いを受け入れながら友達と一緒に楽しさを積み重ねています。



5歳児・とんぼ組

春、ドキドキしながら行っていた人数報告当番、今では見習いのこおろぎ組の子どもたちをリードしながら見本となって教えてあげています。様々なことに挑戦したり、努力したりすることで自信がついてきました。自分にできることは人にもやってあげよう、教えてあげよう、という気持ちが育ち、助け合ったり協力したりすることで自分たちで生活や遊びを進められるようになりました。

